

令和4年度 富山市指定管理者モニタリングレポート

【指定管理施設概要】

施設名称		富山市立慈光園
指定管理期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
所在地		富山市西番104番地1
指定管理者	名称	社会福祉法人富山市社会福祉事業団
	代表者	理事長 今本 雅祥
	所在地	富山市蜷川15番地

項目1 指定管理者制度の導入効果に関する項目

運営状況及び利用実績

項目	計画	実績	(対計画比)	特記事項（指定管理者記載欄）	特記事項（富山市記載欄）	評価※
				※「対計画比」で±20%以上のズレがあった場合は記載必須	※指定管理者と異なる評価とする場合は記載必須	
開館日数	365日	365日	100.0%	入所施設のため年中無休		B
利用者数（延べ）	46人	42人	91.3%	入所者数の年度当初（計画）と年度末（実績）の数		B

事業収支

項目	計画（千円）	実績（千円）	(対計画比)	特記事項（指定管理者記載欄）	特記事項（富山市記載欄）	評価※			
使用料	-	-	-	事業収支は「シニアライフ講座」分を含む。 ・シニアライフ講座分【収入】（計画/実績） 「委託料」1,170千円/1,170千円 「補助金」864千円/463千円 【収入計】2,034千円/1,633千円		B			
指定管理委託料	93,149	93,149	100.0%						
指定管理補助金	70,012	67,785	96.8%						
寄附金	1	0	0.0%						
その他	1	30	3000.0%						
収入計（A）	163,163	160,964	98.7%						
人件費	70,812	68,417	96.6%	「事業費」は、入所者数が見込みより少なく、ほとんどの項目で減となったが、水道光熱費については、電気料の高騰、ガス代の単価の値上りにより増となった。 ・シニアライフ講座分【支出】（計画/実績） 「人件費」1,664千円/1,095千円 「事業費」228千円/103千円 「事務費」142千円/36千円 【支出計】2,034千円/1,234千円		B			
事業費	59,413	47,507	80.0%						
給食費	22,491	14,825	65.9%						
教養娯楽費	966	497	51.4%						
日用品費	779	768	98.6%						
本人支給金	5,002	2,312	46.2%						
水道光熱費	25,528	26,437	103.6%						
燃料費	171	69	40.4%						
消耗器具備品費	830	170	20.5%						
その他	3,646	2,429	66.6%						
事務費	32,938	31,319	95.1%						
修繕費	3,068	2,977	97.0%						
業務委託費	21,189	20,887	98.6%						
その他	8,681	7,455	85.9%						
支出計（B）	163,163	147,243	90.2%						
収支（A－B）	0	13,721	-						

項目2 施設運営の適正性に関する項目

No.	項目	評価の基準	特記事項（指定管理者記載欄） ※A、C、Dを記入する場合は記載必須	特記事項（富山市記載欄） ※指定管理者と異なる評価とする場合は記載必須	評価※
1	責任者の配置	責任者を定めているか	責任者は施設長（慈光園園長）なお、愛育園・慈光園・和光寮の防火管理者にもなっている。		B
2	開館時間・休館日	①開館時間は管理業務仕様書に沿っているか			-
3		②休館日は管理業務仕様書に沿っているか			-
4	使用承認	①使用申請書に不備はないか			-
5		②使用許可（行為許可申請を含む）は基本協定書等に沿って行われているか			-
6	使用料及び利用料	①条例に記載された使用料及び利用料は適正に徴収できているか	利用料は入所者からの申告に基づき市が決定しており、入所者から市への支払いは個々の通帳から振込している。		B
7		②徴収した金銭は金庫等で適切に保管されているか	入所者毎に金銭出納帳を作成、通帳等と併せて施錠できる保管庫で管理している。		B
8		③利用料金の承認申請及び許可について、条例に定めるとおり適正に行われているか			-
9	自主事業	①自主事業の実施に当たり、申請及び承認を行っているか			-
10		②管理業務と自主事業の決算は、可能な範囲で区分されているか			-
11		③自主事業は独立採算となっているか			-
12	職員体制	①職員配置は仕様書の水準が確保されているか	仕様書（富山市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例第6条）の水準を満たしている。		B
13		②必要以上に業務が過大化していないか。特定職員に業務が集中していないか			B
14		③（必要な資格がある場合）資格取得者は管理業務仕様書等に基づき適正に配置されているか	資格が必要な職員及び取得状況は次のとおり 施設長：資格認定講習課程受講中（修了予定） 相談員（2名）：大学で社会福祉に関する科目を修めて卒業したもの（1名）、講習会課程修了者（1名）		B
15		④経理や接遇等の研修を定期的に行っているか	自治体や関係機関が開催する研修へ参加している。令和4年度12回参加（延べ18人）		B
16		⑤利用者の安全確保に関する研修を定期的に行っているか	消防避難訓練の実施（2回） 水害避難訓練の実施（1回）		B
17		⑥天災等の非常時の対応について職員間に周知が図られているか	避難訓練実施のほか、マニュアル、非常時持ち出し袋の配置、非常時連絡体制を掲示している。		B

18	法令等の遵守	①関係条例・施行規則について、必要な時に確認できる体制となっているか	すぐに確認できるよう、事務室内にファイリングし配置している。		○	
19		②富山市個人情報保護条例について、必要な時に確認できる体制となっているか	すぐに確認できるよう、事務室内にファイリングし配置している。		○	
20		③関係法令・条例・規則等が遵守されているか				B
21		④関係法令等の改正があった際、速やかに対応できる体制が整っているか	すぐに確認できるよう、事務室内にファイリングし配置している。			B
22		⑤遵守すべき法令等について、回覧や掲示等によって漏れなく職員に伝わる体制となっているか	事務室内にファイリングし配置している。必要に応じて回覧、掲示している。			B
23	個人情報の取扱い	①個人情報の取扱いに関する留意事項は周知されているか	すぐに確認できるよう、事務室内にファイリングし配置している。		B	
24		②個人情報が記載されている書類は、第三者の目に触れないような形で適切に保管されているか	入所者毎にファイリングし、鍵のかかる保管庫で管理している。		B	
25		③個人情報が記載されている書類を廃棄する際は、シュレッダーの活用等の漏洩防止対策が取られているか	廃棄する際はシュレッダーで粉碎処理している。			B
26	業務の改善	利用者からの要望や苦情に対しては迅速かつ丁寧に対応し、今後の業務改善に繋げているか	担当支援員が個々に対応しており、処遇会議で情報共有を図り、業務改善に努めている。		B	
27	その他	①公平公正な運営を行い、特定の者に対して有利あるいは不利な取扱いをしていないか			B	
28		②施設の維持管理業務を第三者へ委託していないか	平日の夜間や休日の宿日直業務の一部について、施設管理業務として富山市シルバー人材センターに委託している。		B	
29		③ホームページは利用者にとってわかりやすいか、また、適正に更新されているか（特に金額表記やリンクは正しいか）	ホームページは富山市（長寿福祉課）で管理している。			B
30		④施設の清掃・機器点検・利用状況等について日報に記載し、また、自己評価を行っているか	業務報告書等で実施状況を把握しているが、自己評価までは行っていない。	清掃・機器点検等に関しては再委託により行われており、それらの業務報告の確認や施設が作成する日々の日報の作成・管理は適切に行われている。		B
31		⑤利用者アンケートを定期的に実施しているか	アンケートは実施していないが、意見箱の設置や、毎月開催する処遇会議において利用者からの意見を共有、把握している。	定期的なアンケートの実施はなくとも、支援員は利用者とは日々対面でコミュニケーションをとっており、その都度要望等に対応されている。また、意見箱を常設されていることや定期的な処遇会議の開催により利用者からの意見を施設内でしっかりと共有、把握されている。		B
32		⑥バリアフリー対策等が行われ、誰でも安全に施設を利用できる体制が整っているか	入所者のADL等の状況は会議や日報、朝礼時に情報共有し必要な対応を行っている。			B

項目3 施設管理の適正性に関する項目

No.	項目	評価の基準	特記事項（指定管理者記載欄） ※A、C、Dを記入する場合は記載必須	特記事項（富山市記載欄） ※指定管理者と異なる評価とする場合は記載必須	評価※
1	施設の維持管理	①清掃、警備等の定例的な業務（実施頻度が比較的高めのもの）は適切に実施されているか。 ※再委託業務がある場合は、その内容も記載。	以下の業務を再委託で実施、業務報告書等で内容を確認している。 ・中央管理棟清掃業務（週2回、㈱バロン） ・園内清掃業務（床洗浄ワックス年4回等、テックサービス㈱） ・施設管理業務（毎日の宿直、土日祝の日直、富山市シルバー人材センター）		B
2		②保守点検業務等（実施頻度が低めのもの）は適切に実施されているか。※再委託業務がある場合は、その内容も記載。	以下の業務を再委託で実施、業務報告書等で内容を確認している。 ・エレベーター保守点検業務（月1回、フジテック㈱） ・冷暖房設備保守点検整備業務（年2回、冷暖房使用時㈱サブラ）電気 ・電気工作物保安管理業務（年6回、北陸電気保安協会）		B
3		③点検によって判明した異常について、速やかに修繕・交換等の処置がとられているか	入所者の生活に影響がある異常等は速やかに修繕を実施している。		B
4	施設及び設備の修繕	①施設及び設備等の補修・修繕については、事前に報告の上、迅速に対応するとともに利用者の事故防止対策が取られているか	1件50万円超、年間見込額が300万円を超える場合は事前に報告している。入所者に影響がある場合は内容を周知している。		B
5		②過去に実施した補修・修繕について、その原因を分析し、事故予防等に反映しているか	修繕履歴を記録し、原因が明らかな場合は再発防止や事故予防の対策を講じている。		B
6		③市が想定している修繕費と実際に発生している修繕費に大幅な乖離が生じていないか	令和3年度に増額（1,452千円→3,000千円）したため、大幅な乖離は生じていない。		B
7		④1件当たり50万円を超える修繕について、市と事前協議を行っているか			B
8	備品の管理	①市から貸与している備品が区別されるとともに、丁寧に扱われているか	備品台帳により管理している。		B
9		②市から貸与している備品に異動（滅失等も含む）があった場合、市に報告がされているか	備品台帳により管理している。		B
10		③指定管理者が購入した備品と市から貸与している備品が備品台帳上、明確に区分され、実際の数量と一致しているか	備品台帳により管理している。		B
11	施設の施錠	①施設の施錠は確実に行われているか	夜間は富山市シルバー人材センターの職員が対応しており、玄関は19時に施錠、21時の巡回時に窓、ドアの施錠を確認している。		B
12		②施設の鍵の管理方法に問題はないか	事務所内の施錠可能なキーボックスで管理している。		B
13	目的外使用	市が許可していない設備が設置されていないか			B